

新潟県

公民館月報

昭和53年3月号

発行所 新潟県公民館連合会

【新潟市川端町2-9・果林業会館内】

【電話・新潟(0252)24-6073】【振替新潟4094】

発行人 会長 石井耕一

編集人 事務局長 本田 清

【定価1部 70円 年共 840円】



シヨウビクギ

燕雀目・ツグミ科
ヨウビタキ属。冬鳥として秋の十月下旬ころに渡来し、翌春の四月下旬ごろまでとどまっている。平地や山地の低木林、農耕地、草原、雑木林、アカマツ林、村落付近の林などに生息する。都市の庭園や公園などにも生活する。多くは単独で生活し低木などにとまって頭部をびっこりと下げ、尾をびりりと上下に振り動かしつつ、クワクワと低い声でなく。高木の頂にもとまるが、低木の頂、岩頭、屋根垣、棒ぎいなどの上にもとまる。ときおり地上で両脚をそろえてはね歩くがすぐ枝上に舞いもどるのが常である。

食物は、昆虫類ではハバチ、アリ、ヤガ、メイガ、シャクトリガ幼成虫、ハムシ、ゴミムシ、テントウムシ、ハエ、ウンカ、ツメゼミ、アワフキムシなどを捕らむ。植物質では、ヤマウルシ、ヌルデ、アオツツラフジ、ソヨゴ、ヘクソカズラなどの漿果や果実などを捕らむ。ひったき、ひったか、ぼかびたきなどの俗名も多い。
(清棲幸保・野鳥の事典から)
絵・近藤徳一(加茂市文化協会)

公民館活動

①

今後も毎年2～3地区の施設を整備し、昭和60年までに全市24地区の施設整備をする計画となっている。

施設の規模については中央公民館の延面積1,087㎡を除く地区公民館は、おおむね集会所400㎡、講堂兼体育館360㎡の規模を原則とし、用地についてはおおむね2,000～5,000㎡を原則としている。

(4) 活動状況

本年度の日標、努力事項は次のとおりである。

- ・目標 健康で明るく自由で豊かなまちをめざして、主体的な生涯教育活動をすすめる市民。
- ・重点目標
 - ・生涯教育の振興
 - ・コミュニティづくりの促進

・努力事項

1. 生涯教育の振興

- ・少年教育 町内、部落子ども会活動を振興するため、リーダーと組織の育成をはかる。
- ・青年教育 コミュニティづくりの先駆としての青年団体活動を振興するため、リーダーと組織の育成をはかる。
- ・成人教育 コミュニティづくりの中核としての成人教育活動を振興するため、学習の生活化と連帯感の高揚をはかる。
- ・高令者教育 新しいコミュニティに寄与する高令者教育活動を振興するため、自主的な学習活動と団体活動を助長促進する。
- ・家庭教育 子どもの成長に対応した学級活動をとおして家庭教育の振興をはかる。

2. コミュニティづくりの促進

- ・機関、団体等の連絡、調整、援助
地域における各機関、団体などの行なう社会教育活動の相互の連絡、調整、援助をはかる。
- ・機関、施設、団体との連携
近隣の公民館をはじめ他の機関、施設、団体と連携して広範な事業の展開をはかる。
- ・人材の開発と活用
地域における有志指導者、専門家の発掘につとめ、その社会的活用をはかる。
- ・世論の形成
地域住民の連帯感を強め、市民性を高めて世論形成の援助をはかる。

連絡等にあたる中央公民館においては、地区館活動の振興を究極の目標とし、地区館で実施する学級、講座等のリーダーと利用団体のリーダーの養成と交流交歓のための事業と、全市公民館活動の振興をはかるための合同事業やデモンストレーション的な事業が行われている。

また各地区館においては、館長を中心に地区指導員、地区選出運営審議会委員、推進員が一体となって、住民とともに活動を進めている。

3. コミュニティづくりに果たす公民館の役割

以上のような公民館の現況の中で、われわれがコミュニ



現場を離れて四年を過ぎようとしているが、公民館における人と施設と予算の問題は今も変わりがなく、この中で施設面は時代の流れと地域住民の理解で、各地に本

な公民館人がいる。稀には責任者が充分配置された結果に依るものもあるが、大部分は少数職員の日夜をわがため超人的犠牲の努力に負うものが多い。生涯教育の立場から、又最近の指標であるユニニティづくりの指標であるユニニティづくり

市町村理事者の組織である公振連等部の設立を見た事は実に驚ばしい、同会が先ず手始めにこの人的体制問題を実践に取り上げていたならば公民館の飛躍的進展が期待されると思う。(元小千谷市公民館長)

人間体制の強化

俵山 喜秋

この活動に理解と熱意を有する人が一生をかけて勤務出来る様な体制がとれないものか。具体的に云えば一般主事から係長、公民館主事、館長補佐、館長という道を開くべきである。

誰でもよいという訳には行かない。適任者と不向きの人がある。そこでこの活動に理解と熱意



のが多く、これなら声をかけずとも人が集まってくると思われ、聞いてみるとやはり入集めに意欲しているという。

この現実から考えると先述はやはり人である。現に県内各地で優れた実績をあげている公民館を見ると、何時しか同僚と館を見る、そこには必ず熱心

ニティをどう考え、どうとらえているか、これからの公民館の役割と、コミュニティづくりに果たす公民館の役割について、どのように考えているかについて次に記してみたい。

(1) コミュニティをどう考え、とらえるか。

われわれは、現場の公民館職員の立場から、コミュニティの考え方、とらえ方について市公民館研究大会等で研究協議をした結果、現在次のような考え方、とらえ方をしている。

われわれは、これを「コミュニティ柏崎方式」と呼んでいるが、あえて紹介してこれからの研究の素材にしたいと願っている。

地域 公民館の対象区域とする。すなわち第1次生活圏域とする。

施設 公立民営とする。施設は市が建設をし、運営は地元住民の責任で行なう。

活動 住民主体の地域活動である。住民が主体となって、地域の課題を解決していく地域活動である。

(執筆責任者、柏崎中央公民館事務長、徳間助夫)
—以下次号—

「柏崎市のコミュニティづくり」は、いま、内外から注目されている。その骨子を、全公連から委託された研究レポートにより三回に分けて紹介する。

新しいコミュニティづくりをめざす

全国公民館連合会・研究委託レポート

1. はじめに

経済の高度成長や技術革新によってもたらされた急激な社会構造の変化は、人間疎外、過密・過疎、地域連帯意識の減退などの好ましくない現象をひきおこし、急速な地域社会の変容と地域住民の生活構造の変化は、公民館をめぐる社会的条件を著しく変質せしめ、あらためて公民館のあり方、役割が問いただされている。

このような公民館をとりまく情勢の中で、昭和41年には全国公民館連合会の第1次専門委員会による「公民館のあるべき姿と今日的指標」が発表され、公民館の目的と理念について

- 目的 公民館は、住民の生活の必要にこたえ、教育・学術・文化の普及ならびに向上につとめ、もって地域民主化の推進に役立つことを目的とする。
- 理念 1. 公民館活動の基底は、人間尊重の精神にある。
- 2. 公民館活動の核心は、国民の生涯教育態勢を確立するにある。
- 3. 公民館活動の究極のねらいは、住民の自治能力の向上にある。

がとり上げられ、また昭和46年4月には、社会教育審議会は「急激な社会構造の変化に対処する社会教育のあり方について」の答申の中で、公民館の新しい役割として

○公民館については、従来ややもすればその性格と活動が明確に理解されていないくらいがあったが、コミュニティ・センターの性格も含む広い意味での社会教育の中心施設として、地域住民の各種の日常的学習要求にこたえながら、とくに新しいコミュニティの形成と人間性の伸長に果たす役割が、改めて重視されなければならない。

と強調されている。
さらに昭和46年には、国民生活審議会・コミュニティ問題小委員会の報告書「コミュニティの場における人間性の回復」が公表され、新しいコミュニティづくりの必要性和重要性が強調されてきた。

新潟県においては、昭和51年9月、柏崎市で開かれた第27回新潟県公民館大会において「公民館のコミュニティづくりに果たす役割」を大会主題としてとりあげるとともに、昭和52年10月、新潟市で開かれた第26回全国公民館大会においても、開催県として積極的に大会主題の提案を行ない「新しい地域共同社会(コミュニティ)の形成に寄与する公民館の行財政施策の強化拡充と活動振興の具体策について」を大会主題とする全国大会が開かれ、公民館や社会教育のわくの中で公民館の振興を研究協議してきた従来の大会から飛躍して「新しいコミュニティの形成」という、より広く高い観点から公民館のあり方、役割として社会教育の飛躍的發展と地方自治の振

柏崎市における実践と研究

興策が研究討議された。

柏崎市においても、昭和46年の自治省のモデル・コミュニティ事業のひとつとして、市内中鯖石地区にコミュニティ・センターが建設されて以来、新しいコミュニティづくりへの気運が急速に高まり、昭和48年には市政重点施策のひとつとして「生涯教育とコミュニティ・プラン」がとり上げられ、昭和60年度を目標年度に全市24地区に地区公民館と一体化したコミュニティ・センター建設計画が策定され、すでに5地区に施設が完成し、現在3地区で建設が進められ、明年度においては2地区での建設が予定されている。

このような新しいコミュニティづくりへの気運の高まりの中で、公民館は新しいコミュニティづくりの中心的な役割が期待され、われわれも新しいコミュニティづくりをめざす公民館活動のあり方について、ささやかな実践と研究をかさねてきた。

以下、柏崎市における「新しいコミュニティづくりをめざす公民館活動」の実践と研究について紹介し、全国公民館関係者のご指導を願いたい。

2. 公民館の現況

(1) 体制 柏崎市では現在、連絡等にあたる中央公民館を中心に、おおむね合併町村を対象区域とする19公民館が、独立併列方式で設置されている。

昭和60年度を目標年次とするコミュニティ・プランでは、地区公民館と一体化したコミュニティ施設を整備してゆく生活圏域は、市街地にあつては小学校区を単位とし、周辺地域にあつては旧町村又は中学校区を単位とし、このような基本的な考え方で設定したコミュニティ圏域は24圏域で、24の公民館が独立併列方式で設置されることとなっている。

(2) 職員 中央公民館には非常勤館長をはじめ、事務長以下3係(庶務係3名、事業係3名、地域振興係3名)9名が配置されている。

地区公民館には非常勤館長と地区指導員(非常勤有給特別職)1名が配置されている。

運営審議会は全市共通の審議会で、中央館区から2名、他の地区公民館区から各1名、計21名の委員で構成されている。

また、公民館と住民のパイプ役となり公民館活動の推進役でもある推進員が、各地区公民館に4名ずつ配置されている。

(3) 施設 公民館の施設整備は、昭和46年の中央公民館の建設をスタートに次のように進められてきた。

- 昭和47年 中鯖石地区(48年竣工)
- 〃 49〃 南鯖石地区(50年〃)
- 〃 50〃 西中通、北条地区(51年竣工)
- 〃 51〃 松波地区(52年竣工)
- 〃 52〃 田尻、北鯖石、鶺川地区(53年竣工予定)

中里村清津峡分館



(地域運動会)

実践記録シリーズ

36

出稼者激励大会も

雪さえ明るく春を待つ

「実践記録」のあれこれ、いろいろと反響を呼んでいます。あなたもぜひ書いてみてください。

中里中里村清津峡地区は人も知る。最後、地元清津峡小唄を踊る。信越国立公園清津峡深谷の入り口、僅かな平地に民家が並び国道三三三が通じているもの、いまが改修整備が進まず十二月から四月までは閉ざされ「なだれ」の危険に晒される僻地である。中心部の清津峡小学校に分館が置かれ活動も活発である。主な分館事業を紹介する。

一、地域大運動会
毎年七月上旬に開かれ文字通り地域を挙げての大行事。当日は休日とし幼児から老人に及ぶ住民全員参加。前日までに朝飯前作業でグラウンドの整備を完了し、プログラムや手帳も役員会で入念に検討され多形でユニークな名称と中味が盛り込まれる。サイダー飲み、綱引などが好評のもので、綱引きは男女對抗で伝統的に女子が勝っている。出稼者も除雪で鍛えられた体力の賜であろうか。本館からの補助と地元負担、寄附金などから、きまやかなら賞品が与えられる。

二、出稼者激励大会
当地域は冬期間ほとんど雪仕舞から始まるので清津峡小学校の文化祭に合わせて激励大会を開催しその無事を祈願し励まそうというもの。千草・生花・盆栽・農産物・書・絵画展など、ステージでは演芸大会、最後に餅つき大会、ハッピと巻に向録巻の父ちゃん方、小学生や母ちゃん方も交って体育館に杵の音をどよめかせる。みんなで古歌を打ち奏し一日を過ぎるのである。父ちゃんたちは地域の温かい思いやりを背に異郷の地へ出掛けるのである。なお毎年二月上旬には学童と婦人層から懇話会を勢い文筆を出稼者全戸に送付している。現在毎日のように札状が届いている。

三、地域スキー大会
けわしい谷間のため広々としたスキー場はないが婦人層の意気は

さかんであり喊声が谷にこだまづづかい、核家族のあり方、子どもす。直滑降・回転、距離などに加の線、保健衛生・海外旅行報告) などユニーク・宝探し等を運動講習(料理・漬物・編物・包物・会に匹敵する盛り上がりを見せ、着付・指圧・趣味(音楽・民謡・豚汁をすすりながらの笑声の詩吟・球技・室内遊戯)などである。中には暗い雪国のかげりが見られる。講師は本館の騎虎であるが外來講師のほかに地元のベテランに、分館長の補進の賜といわれても多く依頼している。

四、婦人学級
婦人層の向上意欲は極めて旺盛である。主として冬期間の開設で期待と息吹をみなぎらす明るい生活を通している。それが公民館活動の原動力になっているように思われる。



(出稼者激励大会)

(中里村公民館清津峡分館長) 村山 安太郎

交通安全年間スローガン

(こども向け) あぶないよ わき見 無灯火 二人乗り
(歩行者向け) 横断は 見るくせ 待つくせ 止まるくせ
(運転者向け) 事故をよぶ 酒が 疲労が スピートが

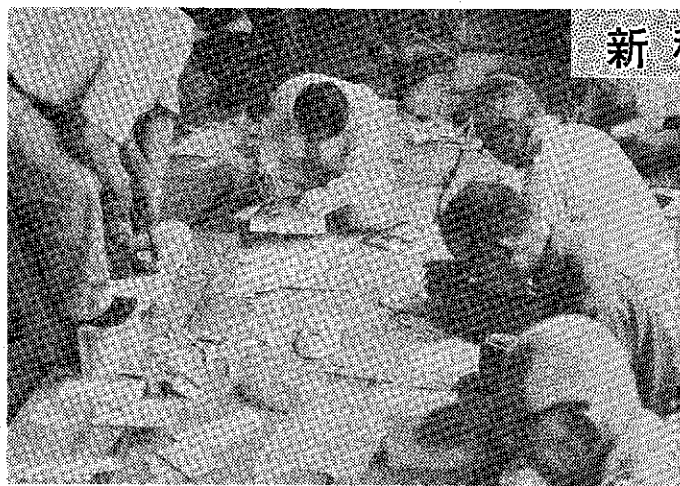
新 穂 村 公 民 館

すばらしい成就感

「女面」面打ちに挑戦して

公民館が、学級講義の中心として、主事の女への愛を、手本とする面と輪郭を描いた面を、木彫教室に取り替わりの選択たろうや、また概した面と目は集中している。組んだ経過は、また、女性の参加者の多いことと興味が深いところである。

しかし、補助のろ、本日にフミを入れ、寸法を台せし、夫人形・その他であながら切り込んで行、ナタで荒るが、今午女面を彫りする人、教室はその音のみで、味深いところである。



(無我の境地で彫りすすむ)

こうした古教が過ぎ去り完成へ近づくと、概して面作者の顔に似て来るものだったが、休息時はその批評が皆入ります。

いよいよ本付けや、墨付けである。これはまた別の技術を要する。髪一本つが揃わない。手が震えてなかなか思うように進まない。面の表情は口と目元でほぼ決まる。

小面は情緒的で愛慕味あり、気品高く、優しい顔立ちである。その中に知性的な表情をも備えていなければならない。女面には孫次郎・近江女・若女・増女等十数種にのぼる。生徒の作品は皆素晴らしい表情を見せているが、皆実に素晴らしいものばかりである。

完成した面の作者の心は言葉では現わせない。じっとわが面を眺め、自分の心の面のもつ心が話しかけてくるもつてある。この気持ちには自分だけではなからう。

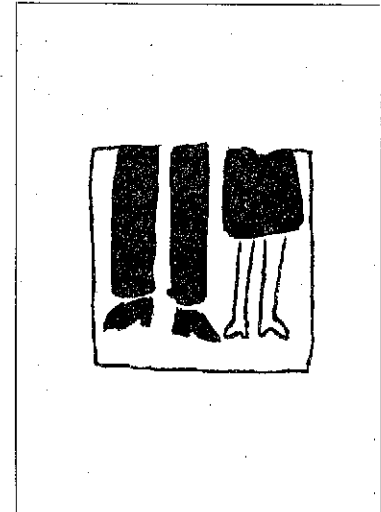
当初四十名に近い生徒であった

が、作品の出来上がった後は、五面と教は減って来たが、この素敵な成就感を各学級講義を通じて、広く村民に指導して行きた。

来生は「菊」の面造りとして小面と一対に我が家の家室として大事に保管したい気持ちである。また、上級生(ミス)(男性のみ)佐藤の厚太鼓が使われている「獅子頭」にも取り組んでいく予定である。

(佐藤郡新穂村公民館長)

引野 一雄



性の問題にとり組む

みんなの共通理解すすむ

村松地区は豊岡市をむき、物産をもち出しての郊外にあり、人口約二二〇戸、人口約一〇〇〇人、大工、石屋が多くなり、地域全体の性のモラルの向上に役立とうと学級生は張り切っています。

五年程前に沈滞していた青年会をたて直し、再編成してススタートした学級で、学級生は在任青年の約二五の三〇名である。

近時、新穂村において女子高生のためプログラムの編成について配慮しながら、次のように計画した。

- (1) 子どもの性の疑問に答える
 - (2) 思春期における女子の生理
 - (3) 性教育を考えるつどい(その一)
 - (4) 賢い青春(その一)
 - (5) 賢い青春(その二)
 - (6) 働く青春(その一)
 - (7) 性教育を考えるつどい(その二)
 - (8) 性のモラル
- 学習方法は講義、フィルムフォラム、話し合い等を適宜に組み合わせて実施した。八回にわたる青年の地域ぐるみの性教育活動は素朴なまじり、さまざまな反応を呼んだ。

スター・レ初には、青年の興味本位な自己満足にすぎないのでは

ないか等の感じでもちの人たちが受けとられていたが、学級生の熱心な各戸訪問による参加の呼びかけや、学習会の準備のためにおそくまで公民館の灯が消えなかつたことなど、ひたむきな学級生の姿勢が、まちの人達に深い感銘を与え、少しずつ「性」に対する理解の扉を開かせ、少しずつではあるが、学習会の会場に出席する達の子を連ねるようになった。

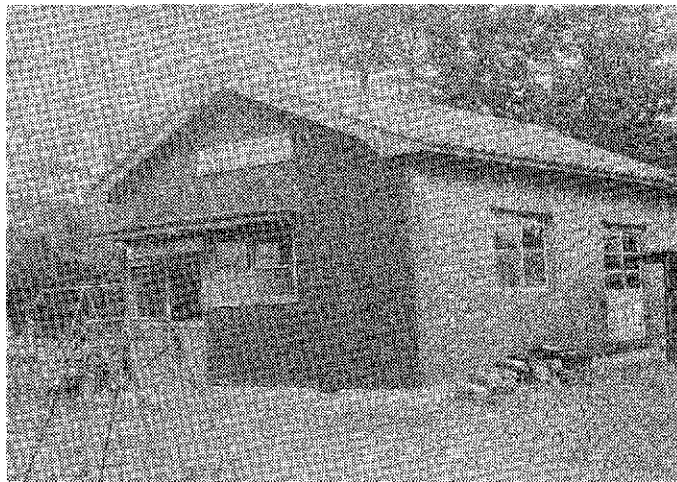
この青年による性教育活動の旋風で、まちの人達、とりわけお母さん達の青年に対する理解度が深まり、従来から展開していたことも対象の改善会、あるいは交通安全講習会などであり、交

(長岡市中央公民館主事) 反町 次則

自治公民館の現状

支館制廃止後の佐和田町

四十三年四月教育界を退職した補導員も退職され、両者は青少年とい、行動を開始した。幸い部落の結成したので、本年度は部落協議会を組織して開催した。回の家長教育講演会を県の社会教育課長を招きして開催した。そして佐和田部落以外に二部落を除いては出現する自治公民館に対して活動も少く、こうした部落活動をしてもらうよう奮闘中である。なお地域子供会の結成も相当地部落に未結成であり、結成されている部落の子供会も名ばかりのもの多く、未結成部落の関係者に呼びかけ、部落(青野山田部落)に呼びかけ、更には名ばかりの部落にも正常な子供会の姿にもすまう呼びかけ中である。



部落自治公民館の役割も果たしている窪田少年会館

つづいたからにはなんとか施設設備も整えたい。関係者に呼びかけ活動をしてきた。部落協議会(二四四坪)と少年会館(一五坪)を設置した。それぞれ遊具体育館を四十七年度に設置完成。子供会を充実させるにはなんとしても父兄の研修が必要であり、早速四十七年一月より本年度まで六回にわたり家庭教育講演会を島外島内より講師を招き継続実施した。そして当町の公民館における支館制も四十七年度に廃止になり、各部落には自治公民館の設置がすすめられた。

私は昨年より佐和田町公民館の二宮分館長(町村合併前の二宮村で戸数九百余戸農村部)を委嘱されたが、何しろ当町四ツの分館活動と云えば二年一回の地区民運動会と正月頃一部落有志による朗読将棋大会位のものであった。これは公民館活動の目的を達成出来ない。関係者と相談し、まず分館の活動計画、役員、年間予算などをきめた。地区民にPRするため第一回の分館たよりを全戸に配り、次に教養面の活動が先行し、社会教育の振興につながる。 (佐和田町二宮分館長) 田中 良一

当部落では早速四十八年四月より部落の徳意により正規の規約をつくり、役員十八名の態勢で部落自治公民館を充足させ活動を展開している。当時婦人会も十年前に解散していたので公民館で呼びかけ四十九年一月より婦人会を結成させた。

更に昨年より一部に壮年部も

三月二十七日、本会事務局は左記に移転します。
新潟市川端町二丁目九番地
新潟県林業会館内 新潟県公民館連合会
電話 新潟(〇二五二)二四一六〇七三

長年の実績と信頼を誇る 記念品シリーズ

◎本書はこのように広く利用されています

全国市町村の成人式・各学校の卒業記念品・就職祝い・青年学級・婦人学級・社内教育のテキストや各団体の賞品等にも大好評!

※ご希望により、祝辞・書簡を印刷するという特典があります。その他、注文部数により特価させていただきますので、お気軽にお問い合わせください。

社会人手帳 文学博士 木下 一雄 監修
新書判 各員定価四五〇円送料別
記念書籍として全国一の発行部数があり、既に25万を超える青年に利用いただいております。社会人として欠かせない知識と教養を高めるポケット百科事典として大好評。

社会人と法律 弁護士 中村 弘 監修
新書判 各員定価五五〇円送料別
法律の無知から人生を過すことがあります。法律常識を平易に懇切に解説し、日常の暮らしに役立つ。特に社会人として役立つ若人への記念として毎社採買中推しています。

社会人とエッセイ 日本社会教育普及会編
エッセイの基本をよくわきましているかどうかは、人間関係を左右するカギであると言われています。基本から応用動作を写真や図を多く載せた、携帯便利ポケット版です。

考える本 日本文学研究会 永井 三郎 監修
普及版 各員定価五〇〇円送料別
各分野の一流先生が語る示唆に富む、珠玉のエッセイ40編を中心に、人間として生き抜くために「考える」ことを原点とし、若者の眼を刺激し、価値を創造する本。

新しい人生 法学博士 中村 哲 監修
新書判 各員定価五〇〇円送料別
人生の師となる人々の金言・教訓をはじめ古今東西の詩や歌・格言等を満載し、とかく物質文明に流され易い現代、新しい人生に豁出する若者の心の糧となり読本としても好適。

郵便番号 一一三(東大正門前)
東京都文京区本郷六一九一五
本郷局私書箱十三号
日出版株式会社
電話(〇三三)八三三三〇一(代)
振替口座 東京二八九一



書道教室「つくし」の皆さん

刈羽村公民館

機関誌も発行

人気高まる「書道教室」

刈羽村社会教育の昭和五十年二、自己の向上
 度事業の目玉商品として、書道を一、情懷の陶冶
 たしなむ書道教室を開設しました。二、識読の涵養
 ところ、三十名の村民の方々が参
 加し熱心に勉強いたしました。
 ま、開校に際し、日本書道連盟
 審査員等を聘任されておられる山
 岸彌頭先生をお招きし、書道の心
 樞えについでご講義を戴きまし
 た。

即ち、書を通して立派な人間と
 して形成され、人を見る目が養わ
 れ、社会的に有益な生活ができ
 るからであります。
 ここに書道教室の一年を反省
 し、更によい成果を上げます。

よきこの度機関誌「つくし」を発
 行するにいたしました。
 このつくしは書道用の筆がつ
 めこに似てゐること、つくしの
 いを意味してゐます。
 以上原稿の中から三篇を披露い
 た各各位のご指導を仰ぐ次第であ
 ります。
 (刈羽村公民館長)
 長谷川 泰雄

書道教室とわたし

土田 キン

過ぎ昔の字ひびで、机
 を共にした方々や、娘の
 よまな若い方と膝を交え
 て話し合ひが出来ますこ
 とは、これだけでもよい
 ことだと存じます。家庭
 の励力もさることなが
 ら、東京に嫁いでいる娘
 達も電話で「習字を習っ
 ているんだって、ほんと
 に良いことだから大いに
 頑張つてね」と、励まし
 れる言葉をかけていた
 ら、頑張るなッちゃん」と
 は早鐘の様になり、手は震え夢中
 でした。それでも広い体育館で活
 白紙の雲の二片の行く

私と公民館

明日美が生まれて三日目、海をこ
 山の物とも定かでない、手に受けたり
 消えて行く泡にも似て、はかなさ
 とない幼い命に背席に口唇のなほ両親
 が「今は夢中で手なぐりの毎日、でも
 明日はき」と美しく幸せなうたを
 にか、われながら名案を思ひ付いたもの
 るだけで、あたかも「書きさるる」

命 名 星 野 ミヨ子

いところを込めて、名前にも託さず、
 して命を託しました。そして私もまたお
 七夜の前夜、新生児を寿ぐに「さむし
 い美しい文字で、初の内縁の杜辺を飾
 ったさむし」と、夜を徹して筆を動か
 して書いた。その筆跡は真実なほど

してはいた自己に気が付かぬほど
 孫が幼稚園に行く頃には、胸の
 カチカチ「明日美」の三文字を私の手
 書いてやれる様になれたら手紙の
 ね。とささやかな願ひです。

家族に励まされて 大 野 きよい

五十の手習ひでございませう。日頃御
 多忙な館長さんにもかかわらず必要な
 用具の御配慮までして頂いて帰る途
 がら、小学校の頃の子供心に返って
 カタコトと鳴るカバンを肩より掛けて
 下校の昔々さうさうと思ひ出させて
 れました。
 先生方の講義をうかがい初歩の
 御指導をいただき、殆んど毛筆を持つ
 ことになりましたので、難し
 くてなかなか書いても筆は二
 向筆のままにまひりませぬ。ここに
 ことが第一の要諦でしようけれど、なるまじ練習を続けたいと思つていま
 も、その外にもまた大切な事として、私
 どもはこれからの学んでまいりたいと思
 っています。
 お正月になりました、屋敷の娘
 一 節に花を口に来て子筆をの
 ぶ

あの頃のこと

間借り公民館時代 ②

杉野 誠治

昭和二十九年の町村合併は、公民館の統廃合でもあった。町村合併協定書に基づいて、新井市域の公民館は、新井町公民館を本館に、旧村公民館を分館とした。

増井幸太郎新井町長をはじめ、戸田山誠、島坂、長谷川定司、斐大、原田卓一郎、水上の旧村長等、公民館活動に対する長き理解者であったので、旧村役場に分館を併設し、総務課所管の連絡行政事務を兼務とする公民館分館職員を配置するとともに、区域の大き

い旧上郷村を二分して瑞穂分館を、分村合併した旧和田地区の乗原小学校に原原分館をそれぞれ設置した。

視聴覚機具や、図書も充実されたが、旧役場を公民館の本館としていたために限られた活動しか実施されなかった。そしてその多くは、地域の集会所、学校、寺院を場所としての社会教育活動でありながら、地域住民は、公民館職員による事業であるため、公民館活動として評価していたようである。

活動は、積雪期の冬季になると女子青年を対象として、和洋裁講習会や日中日曜日を除いて毎日行なっていた分館もあった。春から秋にかけては、娯楽の少ない農村地域に在っては、十六種フィルムによる歌合を中心し、浪曲スライドの上映、民謡、金鐘、講習会や大会、地域住民運動会等が主なるものであった。

中頸城郡内四八町村で組織していた中頸城郡公民館連絡協議会の組織も、一町村一四館に減少して来たため、高田市を含めて、上越三市一郡公民館連絡協議会を結成すべく努力していた。

この頃の中頸地方には、渡辺義文(大瀧)、梅山八十二(直江津)、渡辺吉雄(白郷)、浦井芳男(三和)、飛田二郎(高田)、佐藤忠治(大瀧)、吉野(新姓矢島)三谷(大瀧)等の名を思い浮かべることができた。

公民館活動に促進する者にとっては、施設々備のことのた公民館の建設を、あらゆる機会あらゆる方法に訴えて叫んだが、一般

行政事務の多量化と、町村財政の困窮を打破するための町村合併で、公民館の建設問題には容易でなかった。

住民もまた、公民館職員の人海の必要を強く感じていなかった。

公民館職員の人海戦術は、交通

機関の途絶した冬季が特に多かった。この期間は「間借り時代」といわれる。この期間は「間借り時代」といわれる。この期間は「間借り時代」といわれる。

このことが、やがて「公民館で公営結婚式」という声、農協と農家の主人、主婦等が多く集まることのできたからである。四キロメートルから二〇キロメートルの道を徒歩で、または泊りがけで、そして、公営結婚式をあげられ「明るく地域づくりのために、住るような公民館」という声は、どうあるべきか、等の問題をにたっていたのも事実である。持って、市内の集落を巡回して...

筆者紹介
杉野誠治氏は、草創期の新井市公上梓した「新潟県公民館史」の編纂委員として力を尽くした。現職、新井市監査事務局長・日本舞踊の名手。

研修テキスト 公民館経営ハンドブック <4分冊>

日常出版株式会社
監修 湯上二郎 著者 湯上二郎、学者、実務家、共同執筆、18氏による
A5判・4冊セット(函入) 定価3,000円 送料120円
各冊・定価800円 送料120円
現代公民館研究会/編

●主な目次と執筆者

第1分冊 公民館の使命と組織		
1 生涯教育と公民館	湯上 二郎	
2 公民館の歴史	安原 昇	
3 コミュニティの形式と公民館の役割	湯上 二郎	
4 館長と主事の職務	吉瀬 純一	
5 公民館運営審議会の運営	光安 常喜	
第2分冊 公民館の経営と管理		
1 公民館と法律問題	伊藤 俊夫	
2 公民館の設計と施設管理	林 健生	
3 公民館の子算編成と経理	西ヶ谷 悟博	
4 公民館経営の診断	朝比奈 博	
5 図書館や博物館との連携	佐々木 実	
第3分冊 公民館活動の企画		
1 公民館活動の立案	安原 昇	
2 公民館活動の評価	岡本 包治	
3 公民館調査の進め方	渡辺 史直	
4 公民館広報の着眼点	樋上 光一	
5 クラブ・サークルの育成	沢田 正夫	
第4分冊 公民館活動の展開		
1 学級・講座の開設と運営	春日 英明	
2 集会・行事の企画と運営	楠谷 志洋	
3 図書室の利用と相談事業	中島 俊教	
4 視聴覚教育の技法	宮本 一	
5 体育・レクリエーション活動		

公民館関係法令集

内容・教育基本法・社会教育法・社会教育施行令・公民館運営指針基準・通達(公民館基準の取り扱ひについて)

A5判 34ページ
一部三〇円送料別

公民館関係の諸会議にご使用ください。

申込先・県公連事務局

あとがき

本書編集に、県社教課長の口頭指導により、本事務局の移転命令を受けました。分室時代から二回目のことであり、越後自治会館時代から数えると七回目になります。よほどの馬鹿か、強じんな神経の持ち主でないといふのが、この二冊の挿しつけには耐えられません。私などは弱立場で、強じんな神経などともよの持ち合わせていません。いままで原に対して陳情などしてきませんが、今後ともやはり馬鹿を引いていくほかはないでしょう。(本)

※各分冊ごとに……
①公民館質問箱 ②公民館関係文献の解題と要録
巻末に①公民館年表 ②索引を掲載・県公連あっせん